

<p>公益財団法人 8020 推進財団 平成 30 年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録</p>
<p>1. 事業名：地域密着 8020 推進事業（口腔と認知症の関わり）</p>
<p>2. 申請者名：一般社団法人福岡市歯科医師会 会長 神田 晋爾</p>
<p>3. 実施組織：一般社団法人福岡市歯科医師会</p>
<p>4. 事業の概要</p> <p>超高齢社会を迎えた現在、80 歳で 20 本以上の歯をもつ人の割合も 5 割を超えるようになった。また平均寿命も男性 80.98 歳、女性 87.14 歳と世界一を続けている。しかしながら健康寿命との差はなかなか縮まらず、大きな課題となってきた。その中であって、認知症の増加も国民にとっては大きな問題である。最近、その認知症の予防に歯科医療が大きく貢献できることがわかってきた。そこで、今回の事業で、8020 運動の認知度を高めると共に、口腔と全身の関わり、特に認知症と歯科との関わりについて広く啓蒙啓発を行い、地域における住民が自ら歯科、口腔の大切さに気づき、行動変容を誘発させることを目的とし、そのためのパンフレットを地域住民が集まる場所に設置した。</p>
<p>5. 事業の内容：</p> <p>福岡市内にある 148 の公民館、7 保健所、53 銀行支店、5 福岡市地域包括支援センター、730 薬局、福岡県 10 地域連携室等住民が集まる場所に認知症やオーラルフレイル、口腔機能低下症に関するパンフレットを設置し、広く地域住民の目に留まるようにし、お口の健康の大切さと全身の健康との関わりを訴えていった。また必要に応じて出前講座をおこなう予定であったが今回要請はなかった。</p>
<p>6. 実施後の評価（今後の課題）：</p> <p>多くの場所に設置することで、多くの地域住民にパンフレットが目にとまる状況ができ、歯科医師会の方に問い合わせが数件くるなど、ある程度の反響は得られたと思われる。</p> <p>今後は出前講座なども積極的に行い、8020 運動の認知を広めるとともに、歯科口腔の大切さを伝えていきたいと考える。</p>